



泌尿器科の治療

関連資料リスト

吹田市立図書館発行
2023年12月

★泌尿器科の病気と基礎知識

494.95//ニヨ	尿もれ、頻尿、前立腺の本 名医が教える尿の悩みを根本から治す方法	高橋 悟／ほか監修	日経BP 2022年
本書では尿もれや頻尿などの尿トラブルのほか、前立腺肥大や前立腺がん、過活動膀胱など、泌尿器科の病気やその治療について、わかりやすい絵や図を交えて紹介します。			
492.92//カン	看護の現場ですぐに役立つ腎・泌尿器看護 のキホン 患者さんを安心させる看護技術が身につく!	雑賀 智也／編著 住田 真貴／著 大坪 陽子／著	秀和システム 2022年
医療従事者向けに書かれた本ですが、腎・泌尿器科の病気や治療法などについて、とてもわかりやすい絵や図を用いてコンパクトに紹介されています。			
494.95//ゼン	全国から患者が集まる泌尿器科医の頻尿・ 尿もれ・夜間頻尿の治し方	高橋 悟／著	毎日が発見 2021年
本書では頻尿や尿もれなど、尿トラブルの原因や対策を絵を交えてわかりやすく紹介するほか、セルフケア（運動やマッサージなど）については、写真も使って詳しく紹介します。また泌尿器科での治療についても紹介します。			
494.95//ヒン	頻尿・尿もれ 泌尿器科の名医が教える最高の治し方大 全、昼も夜も安心!尿意をコントロール!	-	文響社 2020年
本書では頻尿や尿もれ、過活動膀胱など、誰もが抱える尿トラブルの症状や悩み、検査や治療方法などの疑問について、専門医がわかりやすくQ&A方式で解説します。			
492//ビヨ	病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第3版	医療情報科学研究所 ／編集	メディックメディア 2019年
医療従事者向けですが、図や写真が豊富で語彙の解説もあり、大変わかりやすいです。学生のサブテキストとして重宝されるのも、納得の1冊。前立腺癌の監修は医療法人社団美心会黒沢病院院長。			

★泌尿器科のがんとその治療

494.95//ロボ	ロボット手術と膀胱がん・尿管がん	大堀 理／著	祥伝社 2023年
本書では泌尿器科のがんで前立腺がんの次に多い膀胱がんをはじめ、腎盂がんや尿管がんなどの治療法、特に最新の内視鏡手術やロボット手術について紹介します。			
494.96//ゼン	前立腺がんの基本と低侵襲がん標的治療	小路 直／著	ライフ・サイエンス 2021年
本書では前立腺がんの基礎知識やその治療、特にロボット手術や高密度焦点式超音波療法など、低侵襲ながん標的治療について紹介します。			

494.96//イチ	一流の前立腺がん患者になれ!	安江 博/著	鹿砦社 2021年
著者は自らも前立腺がんを経験した理学博士で、現在(株)つくば遺伝子研究所所長。前立腺がんの治療について、多くの論文を元に解説します。			
494.96//ゼン	前立腺がん病後のケアと食事	穎川 晋/監修	法研 2020年
手術後の食事のとり方や豊富なレシピの他、体調を整える生活のしかたや、公的支援を受ける手続きの方法まで載っています。レシピには、カロリー・脂質・糖質・塩分量に加え、ホルモン療法や放射線療法を受けている時の食生活アドバイスも載っています。			
494.96//ロボ	ロボット手術と前立腺がん	大堀 理/著	祥伝社 2019年
著者は手術支援ロボット「ダヴィンチ」を日本で初めて導入した大学のロボット手術支援センター長を務めた専門医。なぜロボット手術なのかというところから解説します。			
494.96//ゼン	前立腺がん	赤倉 功一郎/著	主婦の友社 2019年
前立腺がんについての情報の集め方、病院選びのアドバイスから、直腸診を受ける時の姿勢の解説まで、前立腺がんになった時に、すぐに役立つガイドブックです。著者は、JCHO東京新宿メディカルセンター副院長・泌尿器科部長。			
494.96//ゼン	前立腺がん治療をのりきる生活・食事・お金	赤倉 功一郎/監修 蒲池 桂子/監修	主婦の友社 2019年
前立腺がんと診断され、治療にあたる際に役立つ1冊。お金の章では、治療費の目安や公的支援の案内。食事の章では、女子栄養大学栄養クリニック教授監修による、市販品で作る簡単なレシピなどが紹介されています。			

★泌尿器科が舞台の物語やがん闘病記

913.6ニタ//メイ	名探偵外来 泌尿器科医の事件簿【物語】	似鳥 鶏/著	光文社 2022年
数ある医療小説の中でもマイナーな「泌尿器科」の医者が主人公の医療ミステリー。小説ではあるものの、医療知識については専門医の監修を経ており、「泌尿器科」のリアルな実態を知ることができる1冊。			
494.96//ボク	ボクもたまにはがんになる【闘病記】	三谷 幸喜/著 穎川 晋/著	幻冬舎 2021年
前立腺がんを患った当代きっての脚本家が担当主治医と共に自身の治療体験や病気について赤裸々に語ります。前立腺がんのイメージが変わるかもしれない1冊。			
494.96//ゼン	前立腺がん体験記 15年の歩み【闘病記】	河北 英詮/著	さんこう社 2020年
2004年に73歳で前立腺がんの告知を受けた精神科医師で医学博士の体験記。発症から88歳までの治療が、PSA値と共に1年ごとにまとめられています。			

*著者、監修者の肩書等は出版された当時のものです。